

公益財団法人東海交通遺児を励ます会 会報

はばたけ

～希望と勇気と自立～

- 会の目的 交通遺児の自立を支援します。
- 会の事業 目的に沿って、次のような年間行事を計画しております。
- * 3月 中学を卒業する交通遺児を励ます集い
新たな門出を、保護者と共に祝います。今年二十歳を迎える遺児も祝います。
中学卒業祝金15万円を卒業生に贈呈
 - * 8月 親子グランピング
 - * 12月 交通遺児を励ます大会 交通遺児及び保護者が支援者、寄付者と共に集います
来春小学校に入学する児童に入学祝金10万円を贈呈
 - * 親子ふれあい懇親会
保護者が抱える問題を共に語り合い、子ども達は当会のボランティアとの交流を楽しみます。
 - * 「親子旅行」を年数回
 - * 随時 支援者からの招待行事、催しに参加
 - * 2月、6月、10月 会報「はばたけ」年3回発刊



会に関わる全ての方々は
私たち家族にとって、「明るい光」です



第58回交通遺児を励ます大会 令和7年12月21日 サイプレスガーデンホテル



会みな様、ボランティアの
お兄さん、お姉さんへ

小3 山本 麗華

わたしは、これまでキャンプ、ごはん会、クリスマス会、バス旅行などいろいろつれていってもらいました。1番楽しかったのは、みなさんでいったキャンプです。キャンプでは、BBQや大好きな温せんに入ったり、はじめて魚のつかみとりをしました。みんなと食べたあゆは、とてもおいしかったです。

さい近は、長野県のカゴメファームに連れていってもらいました。カゴメファームでのんだ野さいジュースがとてもおいしかったです。また、オルゴール館にも行きました。私は、大好きな「青と夏」をえらびました。上手に出てよかったです。

これからもいろいろな所へみなさんと行きたいです。これでおわります。



会長挨拶



会長 吉野 雅山

皆さん、おはようございます。雨の中、またお忙しい中、今日の励ます大会に、いつもになく沢山の皆さんにご参加いただき、ありがとうございます。励ます大会も今回で58回となり、もうすぐ60年を迎えようとしています。

また、ご来賓の愛知県教育委員会鈴木公基先生、名古屋市教育委員会熊谷佳代先生、ナ斯巴川崎所長様、ご多忙の中、ご出席賜りましたことを厚く御礼申し上げます。

なお、両先生には、後ほど子ども達に励ましのお言葉を頂戴いただけますこと、重ねて御礼申し上げます。

さて、本日のメインであります。皆さんから向かって右側にお座りの、赤いリボンをつけておられる方々へ感謝状をお渡しすることです。ご寄付によって当会は成り立っており、皆さんが参加されたそれぞれの行事もそのご寄付で運営されております。

そこで、今日は皆さんの感謝の気持ちと一緒に、寄付者の方々に感謝状をお渡ししてお礼を申し上げたいと思っております。本日はお忙しい中、ご臨席賜り厚く御礼申し上げます。

また、そのご寄付に関しまして、皆さんにお伝えしたいことがあります。

中日新聞社会事業団の林理事長様には、この大会に特段のご支援を賜っております。

中部善意銀行の岡田理事長様からは、作文発表する子どもに代表として記念品をお渡しいただきます。皆さんにも後ほどお渡しいたしますが、そのようにお力添えをいただいております。

もう一つは、今までにない景色です。あちらをご覧ください。自動販売機が設置されています。

あの自動販売機は、東海交通遺児を励ます会の役目の一つでもある、交通事故を減らす取り組みに繋がっていきたくて願いを込めて皆さんのお手紙を貼り、購入くださったドライバー等が「安全運転でいこう。交通安全を守ろう。」という気持ちになっていただけるようにと始めた活動です。

設置にご協力いただいた方々のおかげで現在20台余りが稼働しておりますが、近いうちに100台以上を稼働させたいと思っております。

皆さんの心が伝わるような自動販売機にしてみたいと思っております。

寄付者の皆様へ、お帰りの折に子ども達が案内いたします。お好きな飲料を自動販売機から取り出し、その想いと共にお渡ししたいと思います。

そして、横に設置しているモニターで説明も交え、頂戴したご寄付が子ども達の「心のお守り」としてどのように活用しているのか。その歴史を振り返るスライド映像を用意いたしましたので、ご覧いただければ有難いと思っております。

さて、今日は2人の子どもと、OGの戸井さん、保護者の武田さんに作文を読んでいただきます。本当にありがとうございます。

さらに、今日は嬉しいことに、来年小学校に入学する新1年生が3人来て来ております。後ほど、私どもからお祝いを贈呈したいと思っております。

先日、出席の子ども達に聞いてほしいことがあります。先日、ノーベル科学賞を受賞された北川進先生が、受賞の発表後に子ども達を集めて講話をされました。

先生の哲学・理念は「無用の用」です。世の中に「無用のものは存在しない」という考え方です。その哲学のもとで、先生は何十年と実験を続けてこられたそうです。

そして、多孔性金属錯体という構造体を発見し、例えば、砂漠の空気から水を作り、宇宙船の中で酸素を作るという驚くべき機器を開発され、ノーベル賞を受賞されました。

先生は子ども達に、決して一朝一夕にこの成功があったわけではないこと。「幸運は準備された心のみ宿る」を心情に、日々を丁寧に生きる姿勢を心掛け、実験に実験を重ね発見し、ノーベル賞という幸運を得た。皆さんにとって願いが叶うというのは、心の準備ができている人のみに与えられる権利であるとおっしゃっておりました。

つまり、毎日の生活の中で、心の準備をし、一つ一つのことを丁寧に生きていくことが大切なのです。

それは他人を思いやる気持ちでもあり、約束を守ることであり、嘘をつかないということでもあります。

ぜひとも皆さんには、正しいことを行って毎日を過ごすよう努力していただきたいと思っております。

最後に、ビッグニュースです。先の役員会で、新しいお子さん達が入会されたので、もう一度ディズニー旅行を計画して欲しいという提案がOGからありました。

役員一同、全員一致で、ぜひとも子ども達に来年はディズニーランドで楽しんでもらおうという結論になりました。来年の秋になると思いますが、どうぞ楽しみにしてください。

そして、今日、皆さんの席はこのように丸テーブルが配置されております。空いている席には役員が座らせていただき、役員も一緒に第二部を進めるという企画です。

もし、当会にご要望などがございましたら、同席の役員にお申し付けください。

これをもちまして、私からの挨拶とさせていただきます。今日は大いに楽しみましょう。



役員の人に聞いてみた!

三浦武人理事

● 想い&伝えたいこと...

2024年7月から当会の理事を務めさせていただいて1年半となりました。その間、「励ます大会」や「励ます集い」の、第二部(親睦会)になかなか参加できずにおりましたが、先日12月21日の「励ます大会」で初めて親睦会に参加させていただきました。楽しい催しをはじめ、企画から進行まで、OB・OGの皆さんが中心となって進められている様子や、参加したお子さん・保護者の皆さんが和やかに楽しんでいるお姿を拝見しました。あらためて、当会はなくてはならない場所なのだと実感しました。

OB・OGの皆さんが中心になって様々な取り組みを実施しているのはこの東海だけと聞いており、吉野会長や戸井事務局長の真摯な姿勢やお人柄もあるのかな、と思っています。

なくてはならない場所である当会をご存じない交通遺児の方々もまだまだいるように聞いております。数年前に交通遺児になった方が当会の存在を最近になって知り、今年入会されたということも聞きました。この2、3年で23名の入会があったそうです。

私の勤めるメ〜テレは、地域のニュースや話題、社会的課題をより多くの地域生活者の皆さまへお伝えすることが使命です。当会の存在を広く知っていただくよう取り組んでいくこと、交通事故という社会的課題をしっかりと取り上げていくこと、それが地域の放送局であり報道機関としてできる地域貢献だと思っています。

先日は「励ます大会」と併せて「応援自動販売機」をニュース取材させていただき、放送・配信いたしました。大会中のお忙しい中、取材にご協力いただいたおかげで、短い時間ではありますが、しっかりと伝わる内容に仕上がっており、後から放送の録画を見てほっとした次第です。少しでもお役に立てたのであれば幸いです。引き続き当会の取り組みのお役に立てるよう微力ながら努めて参ります。



励ましの言葉



愛知県教育委員会 保健体育課 指導主事 鈴木 公基様

皆さん、こんにちは。愛知県教育委員会の鈴木です。今日は「第58回交通遺児を励ます大会」にお招きいただき、ありがとうございます。今日は、私の心に残っている言葉を紹介します。

アルゼンチンのサッカー指導者、マルセロ・ビエルサという人の言葉です。

「花壇を避けずに近道しようとする人は、早く着きますが、花を踏んでしまいます。花壇を避けて遠回りした人は、時間はかかりますが、花を傷つけません。近道は、本当のゴールには連れて行ってくれません。」

この言葉は、「急がずにしっかりと努力することが大切」ということを教えてくれています。今の時代は、AIで答えをすぐに調べたり、動画を倍速で見たりと、便利で速い方法がたくさんあります。私も、まとめサイトを見て分かった気になったり、海外で翻訳アプリに頼ったりします。もちろん、とても便利ですが、そういった近道ばかり選んでいると、自分で何かを調べたり、人に教えてもらったりする中で、本当に大切な学びや人とのつながりというものを経験しないままになってしまうかもしれません。それは、ビエルサの言葉の中で言われていた「大切な花」を踏んでしまうこととなります。反対に時間をかけて、ゆっくり丁寧に進むことは、今まで学んだことや経験をしっかりと守り、さらに大きく育てる力になります。時間をかけることで、知識や経験は根を張り、強くなっていきます。私たちの命は、限りある時間でできています。だからこそ、何に時間を使うかがとても大切です。便利なことや速さに流されるのではなく、皆さんの心が動くことや、誰かを思うことなど、本当に意味のあることに時間を使ってください。今日という一日を大切に、焦らずに意味のある一歩を積み重ねてください。

ビエルサの言葉は「真面目に、自分に正直に、丁寧に歩むこと」を教えてくれています。一見、遠回りに見えても、その道で得る経験や出会いこそが、皆さんを強く、豊かにします。限りある時間を大切に、花を踏まない道を選びながら、未来に向かって丁寧に進んでください。

これから歩む道には、挑戦や困難もあるでしょう。でも、その一歩一歩が、必ず皆さんを成長させます。焦らず、丁寧に、意味のある時間を積み重ねてください。皆さんが力強く成長し、社会で輝く日を心から願っています。



名古屋市教育委員会 教育支援部 義務教育課 指導主事 熊谷 佳代様

本日はお招きいただきありがとうございます。今年も残り少なくなってきました。今日は、クリスマスにちなんだお話を紹介したいと思います。

「サンタのおばさん」というお話です。作者は、ミステリーやサスペンスで有名な東野圭吾さんですが、このお話は、決してサスペンスではありません。

クリスマスが近づくと、フィンランドの小さな村で世界中のサンタクロースが集まり、毎年恒例の会議が開かれます。今年の議題は、アメリカ支部のサンタクロースの後任、新しいサンタ選びです。アメリカ支部のサンタに紹介された候補者は「ジェシカ」という女性でした。

集まった国々のサンタらは「サンタは男性であるべきだ」と猛反対します。会長の「なぜ、サンタクロースは男性だと決めてかかるのかね」という問いかけに、ひげがない、白いまゆ毛じゃない、サンタは父親の象徴だからなど——理由はどれも取るに足らないものばかり。みなさんはどう思いますか。

さて、会議は大混乱。しかし、ジェシカは「アヴェ・マリア」を歌い、語り始めたのは、夫を亡くし、ひとりで息子を育ててきた過去と、子どもたちに夢を届けたいという強い願いでした。その言葉に、サンタたちは次第に心を動かされます。そして、ジェシカはその年サンタとしてデビューします。

この物語が教えてくれるのは、「サンタの本当の役割は、あの見た目でも、男女という性別でもなく、子どもたちに希望を届けることだということ」です。本当に大切なことは何かを考えさせられる、心がほっこり温まる、ユーモアと優しさに満ちたクリスマスのお話を紹介しました。

最後に、サンタクロースの秘密をお話します。サンタさんは世界中の子どもたちに笑顔を届けます。でも、今日ここにいる皆さん一人ひとりも、誰かにとってのサンタになれるんです。優しい言葉や笑顔は、誰かにとって最高のプレゼントです。

すてきなクリスマスそして年末・年始をお過ごしください。ありがとうございました。



私の高校生活での出会い

高3 越田 清那

私は、高校3年生で、来年の3月に高校を卒業します。高校3年間は本当にあっという間で、中学の3年間よりも短く感じました。

高校1年生の始め、その高校には同じ中学出身の友達も知り合いもなく、完全に新しい環境でのスタートに少し不安がありました。ただ、今までの経験上なんとかなると思っていたところもあったので、少しワクワクしていました。

入学初日、教室に入って周りを見渡したら、自分が好きなアニメのグッズを持っている子を見かけました。今まで友達の中にそのアニメを知っている子がなかったので、いることに驚きました。ですが、入学早々話しかけに行ける程の勇気は持ち合わせていなかったで、話しかけに行けませんでした。学校生活最初の恒例行事である自己紹介の時に、賭けに出ました。私は、名前と一緒にその好きなアニメの名前を出しました。すると、そのグッズを持っていた子が突然立ち上がり手を出してきました。好きなものが同じ仲間に出会えたことの嬉しさと感動から、熱い握手を交わしました。

それからは早く、そのアニメの話題で盛り上がり、その子の友達とも仲良くなって、またお互い初めましての子とも話していくうちに打ち解けていって、今では毎日当たり前のように話して、同じ話題でも盛り上がれて、自分たちが好きなことを思いっきり話せるほどの仲になりました。自分の好きなことをこうして話せる友達ができたと、人が好きなことを嫌

に否定しない友達に出会えたことが、この高校で何より得たことだと思うほど、大切な存在になりました。数ヶ月前、その友達に勧められたゲームがありました。ゲームだけでなく、アニメやミュージカルなど様々な分野があるもので、やり始めたら見事にハマってしまいました。

最初は、毎日新しいことと楽しいことがたくさんで、明日学校に行ってこの話がしたい！みんなと話したい！と思いつつ生活しています。しかし、そう思うたび、もう少しで卒業、みんな進学や就職で離れ離れになってしまうことにとっても寂しく感じました。ですが、今の時代会えなくても繋がることはできるし、逆に言えば学生の頃より自由になるとも考えられるので、前向きに、残りの時間を大切にしようと思います。

そして、来年度、私は県外に進学します。親元を離れることと、全く知らない土地で新しい環境についていけるのか、今すでに不安だらけではありますが、人との出会いも大切にこれからも自分らしく進んでいきます。



れているのは大きく2つの理由があります。

まず1つは、達成感です。

私は、相手の為に手助けをしたいとの思いもありますが、自分が計画したことが実際に採用され、無事終えることができた時の安堵感と充実感。また、役員の方々や皆様より労いの言葉をかけていただいたことがこの上なく嬉しく『次も頑張ろう』という、やりがいへと繋がり貴重な体験のチャンスいただき有難く感謝しております。そして何より、行事に参加して下さる子ども達や保護者の方々の「楽しかった」、「次も絶対来るから」のお声が一番のご褒美であり、私の行動力に繋がり有難く思っています。

2つ目は、OB、OGスタッフとして一緒に活動している仲間です。

私一人では、絶対に続かなかったと今でも断言できます。現役での参加の時とは違い、スタッフとしての活動は、全てが楽しいだけではありませんでした。



私がOGスタッフとして参加し続ける理由

OG 戸井 静梨香

今回は、私がOGスタッフとして参加し続ける理由についてお話をしたいと思います。

最初は、母が事務局長として就任した時は、明確に誰かの役に立ちたいと、反対に断わりたいと、どちらも思っておらず成り行きでOB、OGスタッフとして参加していました。事務局長が変わられ、また、コロナ感染症も第5類へと移行されたのを機に、会のイベント体制や内容など変わりOB、OGが中心に企画立案に携わることは今までに無い事なので始めは、とにかく必死でした。何度も打合せては練り直しを繰り返しました。私は、特に母と何度も「会議」という名の口喧嘩をしました。それでも、今この瞬間まで続けら

ここまで続けられているのは、現役の参加の頃から一緒にいた他のスタッフがいたからです。とはいえ、全員が同じ年代、同じ年齢ではありません。この一緒に過ごしたOB、OGスタッフとしての数年で一気に仲が深まりました。

OB、OGのスタッフは、大学生もいれば、社会人もいて住む地域や学部の専門分野なども異なります。そのような中でも、スケジュールを合わせて励ます会の行事や打ち合わせに参加しています。何時でも暇との状況ではありませんが、プライベートでご飯や映画に出かけたりもしています。さらには、結婚式への参列や大学の文化祭、行事への応援などへ行く仲間になりました。このような一生ものの出会いは、何時でもあるわけではないと思います。私が一方的に思っているかもしれませんが、おそらくOB、OGスタッフとはこの先もプライベートで連絡を取り合う様な気がします。

それは、片親という同じ境遇の中で幼少期を過ごし、その苦しさや寂しさを知っている数少ない同士だからこそ信頼できるからだと思います。今の世の中、対面でも何の関係性もない人達が束になり人を傷つける時代です。また、対面でも電子機器の普及により子ども達のポキャブラリーも豊かになったことで『い



皆様との出会いに感謝

保護者 武田 千裕

主人が亡くなったのは、娘が小学5年生、息子が1年生の時でした。名前は、光が明るいを書いて「みつあき」といい、その名の通り、周りの人の心を明るく照らすような人でした。子どもが大好きで、主人を見つけると子どもの友達が歓声を上げながら走り寄ってきていました。庭には大きなアスレチックを手作りし、近所の幅広い年齢の子ども達が集まるほど大人気でした。社交的で私よりもママ友が多く「母子家庭で出かけるのが難しい。」と聞けば、うちの子達と一緒に遊びに連れて行ってあげるような人でした。「子どもにはいろんな経験をさせてやりたい。将来絶対役に立つから。」それが主人の口癖でした。

主人が亡くなった時、私は目の前が真っ暗になったのを覚えています。子ども達がいてくれたおかげで、なんとか立ち直る事ができましたが、主人が子ども達にしてあげたかった事を私ひとりでは叶えられず、主人にも子ども達にも申し訳ない気持ちでいっぱいでした。

そんな時に出会ったのが、この励ます会です。私は極度の人見知りで、最初は子どものために勇気を振り絞って参加しました。しかし、皆様が温かく迎え入れてくださり、今では毎回子どもと一緒にとても楽しみ

じめ』も深刻化しています。私は、いじめに遭った経験者でもあり当時は心が苦しく辛い日々でした。子どもは珍しいを標的にします。もしかしたら、皆さんの中に親や友達などに相談できない事や抱えている人がいるかもしれません。また、この先出てくる可能性もあります。その時は、迷わずにこの励ます会を頼って欲しいと思います。私も辛く苦しい時、会やOB、OGに頼りました。私達OB、OGスタッフは、皆さんより少しだけ先輩なだけで、はじめは皆さんと同じ子どもでした。同じ視点で伝えられることがあると思います。

私は、この『励ます会を卒業する』という概念はないと思っています。二十歳を超えても新たな家庭を築いたとしても、ふと思い出した時に集まることができる場所、集まれる仲間たち。その様な環境になってくれたらと思っています。そして、いつか皆さんと共に協力しながら、支える側になってもらえることを願い、私のこれからの楽しみの一つにもなりました。

この様な貴重な体験をいただき心より感謝申し上げます。皆様と出会うことが出来たのは、私の父が導いてくれたおかげと感謝しています。ご清聴ありがとうございました。

にしています。何より、OB、OGの皆さんや会のお子さん達が立派に成長されている姿を見るたびに「うちの子達もきっと大丈夫だ。」と前向きな気持ちをいただいています。

今、世の中では「体験格差」が問題になっていますが支援して下さる皆様のおかげで、かつての私の様に子ども達に何もしてやれないと自分を責める事はなくなりました。支援者の皆様、そして東海交通遺児を励ます会に関わる全ての方々、私達家族にとって亡き主人と同じ『明るい光』です。主人が願っていた「子ども達にいろんな経験をさせてやりたい。」という想いを皆様がかわりに叶えてくださっていることを、心より感謝申し上げます。この会に出会えて幸せです。本当にありがとうございます。





役員さんと一緒に考えました。



ん〜…
難しい。



「このはしわたるべからず!!」
さあ、どうやって渡る?



みんなで
乾杯!!



松尾評議員より乾杯の
ご唱和をいただきました。



私の好きなお菓子、沢山ありがとう。



子ども達のクリスマスプレゼントになりました。



The
チャレンジ2025
開幕だ!!

今年も愛知県中古自動車販売商工組合様
にご協力いただきました(17回目です)。
子ども達にX'マスプレゼントをお渡しくださり、
ありがとうございます。



どれが
いいですか?

大池運送株式会社様(今年で30回目です)、
ダイドードリンコ様より飲料のご寄付を頂戴しました。
ありがとうございます。



とっても
おいしいね!!



ゴールまであと少し!!
会長との対決だ〜



寄付者の人たちが喜んでくれるかな
感謝を記し、鶴を折りました。



役員の方々と楽しい時間を過ごせました。



クリスマスケーキ、おうちで食べてね。



楽しかった
思い出の
手紙!



会長の似顔絵描いたよ!! 似てる?



細野評議員の似顔絵です。
似てるよね!?



内河監事を描きました。

ご支援、ご寄付に心より感謝申し上げます

当会は、国、地方自治体の補助を受けず、皆さまからの温かいご支援、ご寄付で、愛知県、岐阜県、三重県の交通遺児と保護者への支援活動を行っております。

また、当会は平成24年7月に公益財団法人に認定され、当会への寄付は税制優遇が受けられます。

令和7年9月～12月にご寄付を賜りました。

皆さま方の温かいご支援、ご寄付に心より感謝申し上げます。
(敬称略・順不同)

【団体】

一般社団法人 愛知県自動車会議所
一般社団法人 愛知県指定自動車教習所協会
愛東運輸株式会社
社会福祉法人 中日新聞社会事業団
社会福祉法人 中部善意銀行
愛知県信用農業協同組合連合会
一般社団法人愛知トラック協会 知多支部
トータル物流システムグループエスカラデーフタバ産業労働組合
一般社団法人 愛知県道路標識・標示業協会
愛知日野自動車株式会社 親和会

一般社団法人 愛知県トラック協会
名古屋第一支部青年部会
一般社団法人 岐阜県トラック協会
一般社団法人 三重県トラック協会
吉正運輸倉庫株式会社
東山物流株式会社
株式会社ユーネットランス
ユーネットランス労働組合
愛知車輛興業株式会社
大同メタル労働組合
愛知県中古自動車販売商工組合
グایدードリンク株式会社
一般財団法人 名古屋高速道路協会

名古屋大須ロータリークラブ
株式会社日刊自動車新聞社 中部支社
中部物流関連連会
巴運輸株式会社
名備運輸株式会社
臨済宗 薪流会
名古屋個人タクシー協同組合
愛知県個人タクシー協会
株式会社デンソーシェアードサービス
大池運送株式会社
ホテルインディゴ犬山有楽苑
愛知ヨーク株式会社
RIDE 運転代行利用者一同
株式会社カワグチ
野々山恵税理士事務所
サンシン運輸株式会社
株式会社大黒屋仏壇店
三重県トラック事業協同組合
有限会社ビィトップス
東洋樹脂株式会社
愛知県労働者福祉協議会 名古屋中支部
愛知県労働者福祉協議会 名古屋西支部
愛知県労働者福祉協議会 岡崎額田支部
愛知県労働者福祉協議会 東三河支部
愛知県労働者福祉協議会 西三河支部
愛知県労働者福祉協議会 尾張西支部

愛知県労働者福祉協議会 尾張北支部
こくみん共済 coop 愛知推進本部

【個人】

水谷 昀示
弁護士 丹羽 洋典
浅岡 次郎
愛東運輸株式会社
代表取締役会長 村山 明子
峰緒
大塚 真加
松本 秀子
山田 良太
岡地 功七
水野 龍史
松尾 隆徳
石川 靖斉
坪井 和子
公益社団法人 愛知県安全運転管理協議会 専務理事 後藤 安彦
弁護士 岡田 貴文
弁護士 高橋 讓二
野口 土葉
藤原 光広・美舟
匿名

交通遺児のためにと浄財を寄付

名古屋テレビ放送株式会社様から12月22日、多大なるご寄付をいただきました。(昭和52年以来48回目です。)

「交通遺児チャリティ」にご寄付を賜りました企業・団体様は次の方々です。皆様のご厚情に心より感謝申し上げます。

(敬称略・順不同)

株式会社ヤマナカ
リントツ株式会社
名古屋北ロータリークラブ

寄付型自動販売機設置
ご協力のお願い

当会では、子ども達が交通事故により心を痛めない社会を強く願っております。

皆さまには、当会を周知いただく方法の一つとして寄付型自動販売機の設置にご協力をお願い申し上げます。

次の企業、団体様が設置くださいました。心より感謝申し上げます。(敬称略・順不同)

都タクシー株式会社・株式会社イトー急行、丸市運送株式会社、株式会社ケー・シップ、高山産業運輸株式会社、東海交通株式会社



お知らせ・行事案内

第54回 中学を卒業する交通遺児を励ます集い

中学校卒業祝金贈呈(第一部式典にて贈呈いたします)

二十歳を迎える交通遺児を励ます集い

令和7年4月より対象年齢を引き上げ、二十歳を迎える遺児をお祝いします。(記念品贈呈)

・令和8年3月15日(日) サイプレスガーデンホテル

「祝金」申請時に、「交通事故証明書*」が必要となります。*コピー可

励ます大会前に役員懇親会を開催しました

新たに就任の役員2名よりご挨拶いただきました。また、OGより来年の親子旅行について提案発表がありました。



カゴメファーム&信州
1泊2日親子旅行
11/1~2

30名で1日目はオルゴール記念館でオルゴールづくり、2日目はカゴメファームへ出かけ、みんなで楽しむことができました。

ご寄付いただきました皆様、笑顔の思い出づくりへと導いてくださりありがとうございます。



お願い

住所や氏名などの変更は、事務局までご連絡をお願いいたします。

発行・編集 公益財団法人東海交通遺児を励ます会
名古屋市熱田区金山町1-11-2 メイプル金山307号
電話 052-682-9819 FAX 052-682-9865
ホームページアドレス <https://www.tokai-kotsuiji.com/>
発行責任者 会長 吉野 雅山 印刷 ニホン美術印刷株式会社